

平成20年度第3回八幡地域協議会会議録（概要）

日 時 平成20年10月22日（水）午後1時30分～午後3時40分

場 所 一條公民館 第一・第二研修室

出席者（9名）

1号委員 堀茂雄

2号委員 後藤純子 村上三喜郎 後藤甚一 小野満洲雄 土井廣 高橋知美

3号委員 田村和徳 後藤泉

八幡総合支所：支所長 後藤登喜男、地域振興課長 松田文夫、建設産業課主査 阿部武志、
地域振興課 永森忠嗣・御船正周・佐藤義夫

欠席委員 佐藤善一委員、阿曾美智子委員、荒生三雄委員、小野明美委員、御船孝委員、
池田善幸委員

傍聴者： なし

議事日程

1 開 会

2 会長あいさつ

3 会議録署名委員の指名

4 協 議

(1)観光振興について

「玉簾の滝」を主体にした“まちづくり”の具体策

(2)その他

5 その他

6 閉 会

1 開 会

高橋副会長 本日はお忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。それではこれより、第3回地域協議会を開催します。都合により欠席の委員は、佐藤善一委員、阿曾美智子委員、荒生三雄委員、小野明美委員、御船孝委員、池田善幸委員の6名です。会議次第に従って、小野会長から挨拶をお願いします。

2 会長あいさつ

小野会長 実りの秋を迎え、この周辺は稲刈りが終了したようですが、本年は豊作の見込みで、農家にとっては喜ばしいことだと思います。本日は、お忙しい中ですが、第3回の協議会ですので、よろしくお願いします。

3 会議録署名委員の指名

高橋副会長 会議に入る前に、会議録署名委員の指名を行います。“7番の後藤純子委員”が都合により途中退席の予定のため、今回は“9番の後藤甚一委員”にお願いしたいと思います。後藤委員よろしくお願いします。

後藤甚一委員 わかりました。

高橋副会長 それでは早速協議に入ります。会長が議長となり協議を進めていただきます。

4 協 議

小野議長 それでは協議に移ります。先ほど副会長が言っておりましたが、本日は6名の欠席ですが、会議は定足数に達しており、会議は成立いたします。今回は、前回協議した課題で、観光振興について、「玉簾の滝」を主体にした“まちづくり”の具体策を中心に意見交換を行ないたいと思います。まず、事前をお願いした各委員による意見及び提言を發表していただき、その後に担当課である総合支所建設産業課から、玉簾の滝におけるこれまでの事業の説明と委員の發表に対する見解をお願いします。それが終わってから意見交換を行ないたいと思いますので、よろしくお願いします。それでは、資料No. 1の課題に対する意見・提言書から、初めに、阿曾美智子委員の意見ですが、本日欠席しておりますので、事務局から代読をお願いします。

永森地域振興係長 ら・ら・らの売店の活性化ですが、キーホルダーやクッキー等、お土産品の強化。また、人手が不足していると思うので、どのように人数確保をしたらよいか。滝はできるだけ自然のままがいい、という内容です。

小野議長 次の御船委員も欠席ですので、事務局からお願いします。

永森地域振興係長 季節ごとに玉簾の滝をアピールし、イベント開催など、他施設とのつながりを保っていけばいいのではないのでしょうか。地区の人だけでは大変なので、市が主体となり、地区民を雇用する形態ではどうか、という内容です。

小野議長 次は村上三喜郎委員の意見をお願いします。

村上三喜郎委員 現在の状況として入客数はかなりあるものの、トイレ等は使用するが

地元の収入に結びついていません。以前も出しましたが、町時代の湯脈調査を利用し、温泉施設、それも民間主導で設置し、雇用を創出する必要がある。ただし、温泉の有無については市の責任で行い、実際に出た段階で、民間に売り渡す。施設は周辺になく、時代にマッチしたものとする。本地域には3つ目となりますが、こうしたことで、客が足を止め、お金を落とし、地域及び市の利益になるのではないかと考えました。

小野議長 次に後藤甚一委員の提言をお願いします。

後藤甚一委員 まず旧朝日村のタキタロウ祭りのように行政と地域挙げての大イベントにしてはどうか。それから、先日自分が利用した旅行会社の人が言っていたが、玉簾の滝は隠れた名所だが、バスを降りてトイレが少ないのが困ったとのこと。あと、今後どうしたら集客性が高まるのかをこの協議会で議論したいと考えます。

小野議長 次に高橋知美委員からお願いします。

高橋副会長 自分も最初、イベントを考えたのですが、この土地の魅力、良さを知らないと人は集まらない。一度だけでなく、毎年開催し、人が集まると確実に言えなければ税金の無駄遣いになってしまう。玉簾の滝に人が集まるのであれば、インタープリター協会でもガイドをしているが、パンフレットを作成・配布し、八幡を知ってもらうことが先決だと考えます。一方、インターネットを利用し、若い年代に的を絞っての八幡の魅力の募集はどうでしょう。魅力が充分知れ渡った後に、イベントを考えても遅くないと思います。

小野議長 次に田村委員からお願いします。

田村和徳委員 各委員の手段と考えはいろいろだと思いますが、地域に住んでいる人が何かのきっかけで地域の良さを見直すことがないと若い人が外に出て行ってしまいます。イベントにしても一部でなく、地域の思いが一つになるように、地域主体で行う必要がある。老若男女、皆が参加できるような手作りのイベントができればよいと考え、この提案をしました。内容はどう変わってもいいのです。

小野議長 次に後藤純子委員からお願いします。

後藤純子委員 玉簾の滝は知名度もあり、観光客も訪れていると思うが、観光振興となると地元の収入と雇用も関わってくる。そのため、グリーンツーリズムの宿泊者の受入れを活用した観光を考えたい。また、中高年、特に女性をターゲットにして歴史をロマンチックな物語的イメージで作り、八森遺跡等の史跡を巡り、ウォーキングをし、神楽等も絡め、民宿では古代食を出すような、自然と暮らしを含めた総合的なプロジェクトはどうでしょうか。遊佐のツーデーマーチは何年も続いているとのこと。滝の歴史を掘り起こし、人々を引き付ける何かを打ち出さなければならないと思いました。

小野議長 ありがとうございます。次に、総合支所建設産業課より、玉簾の滝のこれまでの事業の説明と各委員の提言に対する見解をお願いしたいと思います。

阿部商工観光主査 皆さんからの意見を含めて、玉簾の滝フェスティバルと当地域の観光の現状と課題を述べたいと思います。なんとと言っても鳥海山と玉簾の滝に代表される自然資源と家族旅行村及び山荘という拠点施設との連携が目玉であると思います。市の新しい観光基本計画を策定する前に、観光アドバーザー会議がありましたが、その中で

も玉簾の滝は人気で、市の観光の売りにすべきとの意見が多かったと聞いています。旅行会社の観光パッケージのコースにも入っており、多いときは1日に35台の大型バスが来ることもありました。登山口は公共交通が不便ですが、中高年の登山ブームは続いており、夏場は係の電話が引きもきらない状況です。山荘の利用では、開業当初3万1千人の利用を見込みましたが、19年度には5万1千人と、鳥海山の観光は順調な推移をしています。滝については、多いときは多いが、来ないときは全く入客がなく、来てただ見て帰るだけで、せっかくの資源を生かしきれていません。観光物産協会では、16年度から滝フェスティバルを実行委員会形式でお盆時期に開催しており、500～1,000人の集客をしていますが、1回限りで終わりとなっています。委員の意見にもあったように、らららの強化も含め、滝の魅力をPRし、観光地としての地位をアップすべく具体的な策を皆さんと協議していきたい。また、温泉調査の関係は昭和63年度に農水省の事業で行い、4箇所を開発適地としました。平成元年には秋田大学の調査により、そのうち2箇所を試掘候補地として選定しており、ひとつは奥山林道と大八重林道の出会い付近、もうひとつが黒瀬発電所付近となっています。想定される湯温ですが、地下で40～50度、地上で27、8度という報告でした。

小野議長 ただいま建設産業課からはせっかくの資源が生かされていないのではないか、という見解がなされました。これまで各委員から発表された提言について、皆さんから意見をいただきたいと思えます。

村上三喜郎委員 今説明のあった2箇所は、大型車が入れるところで、私が前から言っているのは青沢断層の所で、塩分もなくいい湯なのは間違いないと思う。とにかく、湯が出るまでの500メートルの掘削、約2,500万円かかるわけですが、それは行政が責任を持ってやる。玉簾の滝が今後も重要な資源とすれば、そのぐらいの投資はできるはずで。皆さんの知恵を集結させ、どういう滝にするのか真剣に考えていくべきではないでしょうか。

小野議長 村上委員から温泉試掘の意見がありましたが、当局で何かありましたらお願いします。

松田地域振興課長 昨年、今後10年間の市の運営の指針となる総合計画を策定いたしました。5年後に見直しを行うと思えますので、その際、見直しの計画に入れていくか、今後担当課と協議していきたいと考えます。

後藤甚一委員 八幡、松山、平田と温泉施設があるが、それぞれ利益が上がっているものかどうか、お聞きしたい。

阿部商工観光主査 具体的な数字は手元になく申し上げられないが、温泉だけに限れば赤字です。ゆりんこについては燃料代の油が何倍にもなったため、やむを得ず料金を上げた状況です。平田のアイアイに関してはペレットボイラーを使用している関係上、ゆりんこよりまだいい状況です。

後藤支所長 補足します。松山のさんさんは沸かし湯です。現在、鳥海八幡観光において「さんさん、ゆりんこ、鳥海山荘」の3箇所を運営していますが、燃料費が上がるまでは黒字でした。平田のアイアイは別会社ですが、今説明があったように、ペレットス

トープの関係上、経営がまだいい状況です。委員の話聞いていて、やはり地域住民との連携がないとできないと感じました。観光物産協会で日向・升田地区で様々なイベントをしていますが、例えば前ノ川釣り大会。これは升田地域の活性化を目的に始めたわけですが、規模が大きくなるにつれて行政主導に変化し、地域にも重荷になってきたようです。こういったものは地域住民が楽しまないで長続きしません。せっかく各委員から提言をいただきましたので何とかいい方向に持っていきたい。

村上三喜郎委員 あと5年もすれば、升田でも多くの空家が出てくる。そうした家は一部補修を要するものの、宿泊施設をすぐに作れないとすれば、空家を前段階として利用するのも方法ではないか。

小野議長 村上委員からは具体的な提言がありましたが、その他、皆さんからありませんか。

後藤泉委員 個人的に升田地区にお世話になっており、年に20～30回は行っております。けんぞの家ホープ委員会やその前の水田作りなどです。水田作りも升田のイベント起こしのために始めたものですが、最近ではイベントの人集めが大変です。また、我々の仲間の気持ちが薄れてきており、これをもう一度盛り上げ、仲間づくりをしていく必要がある、というのが現状で、そうした草の根運動をやる人がいないことで困っています。やはり升田の中で意見を交わしてもらって、その延長で他地区を巻き込むのがいいのではないかと。とにかく地元の人が踊らないと活性化にはつながらない。また、観光開発に向けた人材づくりと旅行会社からの情報の伝達方法等を行政から考えてもらいたい。

後藤純子委員 グリーンツーリズムの状況はどうか、教えていただきたい。

後藤支所長 その協会はあるはずだが、当地域では宿泊するような所はまだないと思う。様々な行政への届出や許可が必要なので、そう簡単ではない。先ほどからあるように、やはり、らららの活用を考えていきたい。現状は観光客が買ったり、食べたりするような品物がない。これは多くの観光客が来ることを想定して建てたものではないからだと思う。例えば、テントを張っての販売等の方法もあると思うので、委員において良い意見があればお聞かせ願いたい。

堀茂雄委員 店において買う物がないというのはネックになる。今、食の問題が騒がれているので、地元産で、当面は保存性のいい乾物などを売ることにしてはどうか。岩手の雑穀のように米以外で地域から発信できるものを作るようにがんばってもらいたい。

村上三喜郎委員 バス会社などから観光客数の連絡をもらい、昼食場所等を案内するなど、そうしたことから始めてはどうか。

後藤純子委員 この時代、旅行会社への売り込み等も必要だと思う。

小野議長 そういったことはどのように行われているのでしょうか。

阿部商工観光主査 現状は、観光物産協会の本部から、当日の朝に、バス何台行くので、らららを開けて欲しい、という連絡がくるという状況です。また、売込みについては、協会でエージェント回りをしています。

堀茂雄委員 最低限、事前に来る台数を把握できればそれなりの対応ができるわけなの

で、旅行会社からそうした情報をもらうようにしてはどうか。

土井廣委員 滝は全国的にも有名になっており、らららだけではやはりインパクトに欠けるのではないかと。観光については、市の他施設等とセットになっていると思うので、売込みの仕方を変える必要がある。行政でも環境整備にお金をかけてきたわけなので、鳥海山と合わせたコース等、考えていくべきではないか。それから、いつもトイレの問題が出るので、これは早急に、行政から手を差し延べていただいて改善願いたい。

小野議長 今、土井委員からトイレの問題が出されましたが、当局からお願いします。

松田地域振興課長 トイレと観光地は一体ですが、このトイレは補助事業で建てており、当然、改修等に制約があります。また、最大利用時と最小利用時でかなりの差があるわけですが、施設としてどうすべきか、議論を要するかと思います。

高橋副会長 大型バスが来る時期が分かれば、改修よりも簡易トイレの設置も一つの手段ではないか。改修と簡易トイレ設置と、どちらが費用を要するかは不明ですが、考慮していただきたい。

松田地域振興課長 ただ今、高橋委員から意見があったわけですが、ご意見として承ります。

後藤甚一委員 まず旅行会社との連携を模索すべきだと思う。それから、繰り返しますが、添乗員の話だとトイレ、お土産品が問題ですが、場所としては素晴らしい、と言っていました。

堀茂雄委員 前も言いましたが、自家用車は別として、営業の観光バスからは、1,000円ぐらいの駐車料を徴収し、それを、らららの管理費に充てるなどの方法を取ってはどうか。

松田地域振興課長 委員からは人材育成やバス会社との連携等貴重な意見をいただきました。また、駐車場の協力金も一つの考えですが、逆に徴収することで、施設としての機能を求められることもある、と思いますので、内部で議論したい。提言と数々の意見については、正副会長及び事務局で今後まとめていきたいと考えます。

小野議長 その他、観光振興について意見はありませんか。ないようですので(2)その他を事務局からお願いします。

永森地域振興係長 (資料No. 3に基づき説明)

地域づくり予算の来年度予算の要求内容と今年度の成果について簡単に説明します。八幡地域協議会運営事業及び交流活動推進事業は、今年度同様の予定です。次にやわた米生産対策事業は事業開始時から5か年事業としていたため、廃止予定です。花いっぱい推進事業は業者委託管理の植栽を廃止予定のため減額、生涯学習推進事業は地区公民館運営委託料の減による減額要求です。小学生派遣事業、文化のまちづくり事業、社会体育事業、通学バス保護者会補助金交付事業は今年度同額要求です。最後に、参考ですが、庁舎等維持管理事業については、資料に記載の理由により減額要求です。

松田地域振興課長 私から補足します。花いっぱい推進事業については、ボランティア減少等の理由により、減額するものですが、県管理の道路ですので、今後の除草作業等については県より徹底してもらうよう要望していきます。ただし、各区の花いっぱい運

動には従来以上の内容での還元を考えています。次に、生涯学習推進事業は公民館のコミセン化に伴うことからの減額となっています。最後に、庁舎等維持管理事業の中で、タウンセンターという言葉が出ており、また田村委員からも経過報告の要望がありました。若干説明しますが、スケジュール通り進行しており、11月中に入札、12月議会に契約議案を提案、その後、翌年の12月までに建設工事を行い、1月からタウンセンターでの支所業務等が開始されます。

小野議長 意見がなければ観光振興についての協議はこのぐらいにしまして、皆さんから、協議会で意見交換を行なう他の課題がありましたら出していただきたいと思います。

後藤泉委員 まず、タウンセンターについてですが、設計についてどうなったのか、また再度説明会を開き住民に知らせるのか、動きが全く見えない。広報等にも一切掲載されていないので、これでは意見を出す機会もないわけです。それから、生涯学習推進事業に関連したコミ振問題で、地域住民に対する説明会もなく、コミ振についてほとんど知られていない。これでは地区公民館を中心に行ってきた人材育成や地域住民活動が衰退するのではないかと危惧している。それから、どういう形でもいいので、是非、中央公民館的な組織は存続させてもらいたい。

松田地域振興課長 まずタウンセンターについて、要望団体には文書及び個別の説明会で回答済みです。どういう施設なのかは議会での議決後、広報等でお知らせがあると思います。次にコミ振ですが、後藤委員の意見には我々も同感ですので、明日開催される関係課長会議でその趣旨を述べたい。最後に中央公民館の件ですが現段階では残す、ということです。

村上三喜郎委員 次回より協議会の冒頭で、前回出された各委員の意見等の検討状況等を是非報告願いたい。

後藤支所長 ただ今の村上委員の発言は、私どももそうあるべきだと考えておりますので、今回の項目をまとめて、次回報告したいと思います。

松田地域振興課長 本協議会の会議録は市のホームページに登載されており、市側の回答も確認可能ですので、それを踏まえ、様々な意見をお願いしたい。

後藤泉委員 タウンセンターの最終的な間取りとかは公表できないのですか。

松田地域振興課長 我々も委員に示したのしか持っておりません。

後藤支所長 11月に入札が予定されているようですが、こちらにも示されていません。

後藤泉委員 住民が興味があるのは間取り、形、広さとか、どういうタウンセンターができるかです。

後藤支所長 間取り等については要望のあった団体に反映できる、できないの回答は全て済んでいます。それ以降はないはずですが。

土井廣委員 公共の建物なので、一般には公開できないということですか。

後藤支所長 住民説明会で示した以外の実施設計の成果品、それは公表できない、ということですが。

田村和徳委員 要望が実際どうなったのかが見たい、というだけです。各団体へは文書等で回答したということだが、例えばドアがどうなったのか、前に頂いた図面では分か

らないわけです。

松田地域振興課長 私どもとしては住民に対してできる限り情報を提供したつもりです。

後藤支所長 後藤委員の意見は、各団体に対しての回答も全て明らかにして欲しいということですか。

後藤泉委員 私も団体に所属していますが、会長に説明したのかもしれないが、私たちには下りていない。また、本協議会の各委員もその回答は知らないわけです。

後藤支所長 繰り返しますが、各要望団体に対しては、できる、できないはありましたが、図面を示しながら、回答し、了解を得ています。

松田地域振興課長 最終的な図面については、建築課に確認し、可能なものについては委員にお示しします。

小野議長 その他皆さんからありませんか。

5 その他
なし

6 閉会

小野議長 意見もないようですので、第3回目の協議会をこの辺で終了いたします。皆さん、ご苦労さんでした。